

科学研究費助成事業(基盤研究B)「戦前期東京における住宅開発と生活空間の変容—東京府渋谷区を事例に—」

渋谷近現代研究会 公開シンポジウム

佐賀の地で地域学を推進してきた佐賀大学、
渋谷の地で「渋谷学」に取り組む
國學院大学の研究者と、
渋谷区郷土博物館・文学館や鍋島報効会徴古館。
地域の専門家が一同に集い、
佐賀と東京・渋谷という双方向の視点から
「鍋島家の近代」を語り合います。



11代鍋島直大/公益財団法人鍋島報効会所蔵

鍋島家の近代を語る

Talking about the Modern Times of
The Nabeshima Family
SHIBUYA TOKYO & SAGA

-東京渋谷と佐賀-

2022年12月18日(日)

時間/13時~16時40分

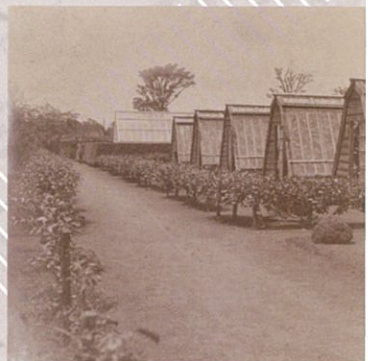
佐賀商工ビル7階 大会議室 佐賀県佐賀市白山2丁目1番12号

シンポジウム登壇者

- 講演
富田紘次(公益財団法人鍋島報効会事務局長)
内山京子(國學院大學栃木短期大学准教授)
田原光泰(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員)
- コメンテーター
青木歳幸(佐賀大学特命教授)
根岸茂夫(國學院大學名誉教授)
- 司会
手塚雄太(國學院大學准教授)



渋谷松涛 鍋島農園/公益財団法人鍋島報効会所蔵



渋谷松涛 鍋島農園/公益財団法人鍋島報効会所蔵

お問合せ先 渋谷近現代研究会 shibuyakingendai@gmail.com

主催:渋谷近現代研究会(科学研究費助成事業(基盤研究B)
「戦前期東京における住宅開発と生活空間の変容—東京府渋谷区を事例に—」)
協力:公益財団法人鍋島報効会(徴古館)
後援:佐賀大学地域学歴史文化研究センター/國學院大學研究開発推進センター

参加お申込は右記QRコードより
(定員:先着60名)

11月10日より受付開始



佐賀と東京・渋谷という双方向の視点から

「鍋島家の近代」を語り合います。

江戸時代に佐賀を治めた大名である鍋島家は、近代には侯爵となり、東京・永田町に本邸を置きました。

明治時代以降も鍋島家と国元である佐賀や旧佐賀藩士との関わりが続く一方、鍋島直大侯の次女伊都子が梨本宮家に嫁ぐなど、皇族との新たな結びつきも生まれました。

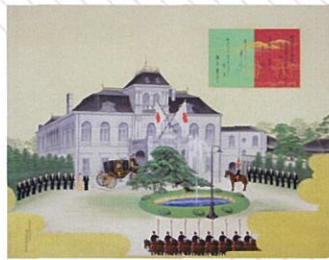
渋谷にも土地を所有するようになった鍋島家は、茶園や農場を渋谷で営み、後には本邸を移し、鍋島直大侯・直映侯らが近代都市渋谷の開発にも取り組みます。その痕跡は東京有数の閑静な住宅地として知られる渋谷・松濤の町並みや渋谷区立鍋島松濤公園として現在も残っています。

このように、佐賀と東京・渋谷には、

鍋島家を通じた強いつながりがあるといえます。



梨本宮伊都子妃/公益財団法人鍋島報効会所蔵



明治天皇行幸図(永田町鍋島邸)/公益財団法人鍋島報効会所蔵

鍋島家の近代を語る

Talking about the Modern Times of The Nabeshima Family SHIBUYA TOKYO & SAGA

-東京渋谷と佐賀-

●講演

「「旧佐賀藩主」鍋島家 -近代における鍋島家と佐賀-」

富田 紘次(公益財団法人鍋島報効会事務局長)

「鍋島侯爵家の日常 -家政と家職-」

内山 京子(國學院大學栃木短期大学准教授)

「鍋島侯爵家の渋谷開発」

田原 光泰(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員)

●コメンテーター

青木 歳幸(佐賀大学特命教授) 根岸 茂夫(國學院大學名誉教授)

●司会

手塚 雄太(國學院大學准教授)



永田町鍋島邸/公益財団法人鍋島報効会所蔵



渋谷松濤鍋島邸/公益財団法人鍋島報効会所蔵



渋谷/鍋島農場付近 1万分の1地形図「世田谷」大正5年修正測図



参加お申込は、
右記のQRコードより
申込フォームへ。



定員60名 11月10日より申込受付開始

定員に達し次第、締め切らせていただきます。

<https://forms.gle/u3zUAsdNVd1Tv72g8>

お問合せ先 渋谷近現代研究会 shibuyakingendai@gmail.com

主催:渋谷近現代研究会(科学研究費助成事業(基盤研究B)「戦前期東京における住宅開発と生活空間の変容—東京府渋谷区を事例に—」)

協力:公益財団法人鍋島報効会(徴古館) 後援:佐賀大学地域学歴史文化研究センター/國學院大學研究開発推進センター